

# 小規模事業者 景気動向調査報告書

(令和4年10~12月期)

**延岡商工会議所／中小企業相談所**

**延岡市幸町3丁目101 延岡駅西口街区ビル3階**

**TEL 0982(33)6666**

**FAX 0982(33)6682**

## I. 実施概要

1. 調査対象事業所数	125事業所
2. 回答事業所数	57事業所
3. 回答率	45.6%
4. 業種別内訳	
製造業	9事業所
建設業	3事業所
卸売業	3事業所
小売業	26事業所
サービス業	15事業所
合計	57事業所

### 5. 実施時期

令和5年 1月上旬～3月上旬

### 6. 調査対象期間

令和4年 10月から12月（第3四半期）

### 7. 調査内容

調査対象期間である第1四半期について前年同期比、前期比、来期見通しの売上（受注）状況、採算（経常利益）、資金繰り、材料仕入価格、雇用（労働力）状況、設備投資計画、業況の各項目についての状況。

（D I 値の集計）

#### ※ D I 値（景況判断指数）について

D I 値は、売上、採算、資金繰り、仕入価格、雇用状況、設備投資、業況の各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気、弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

$D I = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

売上：（増加）－（減少）

採算：（好転）－（悪化）

資金繰り：（好転）－（悪化）

仕入価格：（低下）－（上昇）

従業員：（不足）－（過剰）

設備投資：（拡大）－（縮小）

業況：（好転）－（悪化）

### 8. 調査方法

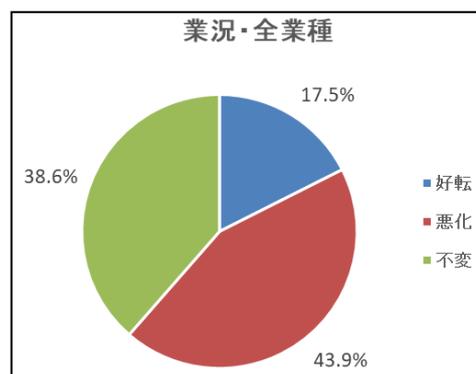
調査対象事業所に対して、調査票を郵送しファクシミリ及び電子メール等で回収、当所にて集計、分析を行う。

## Ⅱ. 概況

### 1. 全業種の業況

全業種の業況判断として、前年同期比（令和3年10月～12月）のD I値は▲26.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は17.5%、悪化したと回答した事業所が43.9%、変わらないと回答した事業所は38.6%だった。



令和4年10～12月の前年同期比について、新型コロナウイルス感染症の流行が、比較的落ち着き、消費が緩やかに持ち直しつつあったものの、依然として原材料高騰の影響は大きく、「採算の悪化」といった回答が多かった。

2022年の年末から2023年1月にかけて、新型コロナウイルス感染症の第八波影響により、売上が悪化したとの回答も多数あった。

	R3.10～12 前年同期比	R4.7～9 前期比	R5.1～3 見通し
全業種	▲26.3	▲14.0	▲26.3
製造業	▲33.3	▲22.2	▲22.2
建設業	▲66.7	▲33.3	0.0
卸売業	▲33.3	▲33.3	▲33.3
小売業	▲18.5	▲11.1	▲29.6
サービス業	▲26.7	▲6.7	▲26.7

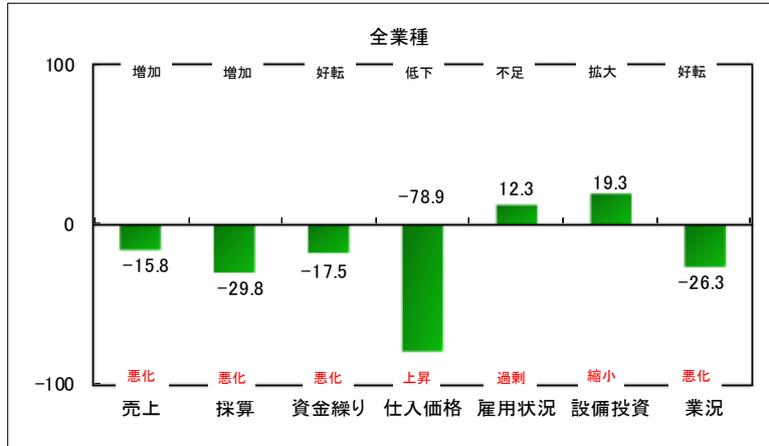
来期見通し（令和5年1～3月）のD I値については、▲26.3ポイント。建設業を除く業種については悪化の見込み。

原材料高騰等による「仕入価格の上昇」、「消費者の購買力・来店頻度低下」を懸念する事業者が多かった。また、依然として「人手不足」による問題を回答した事業者も多数あった。

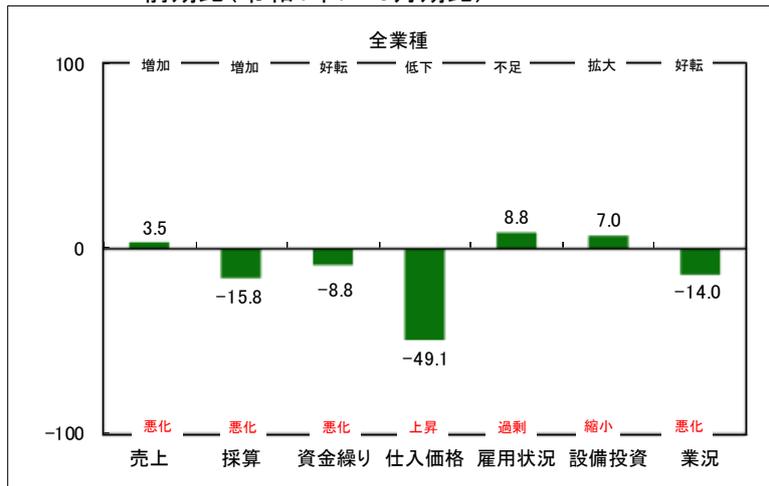
## 市内景気動向

### 全業種

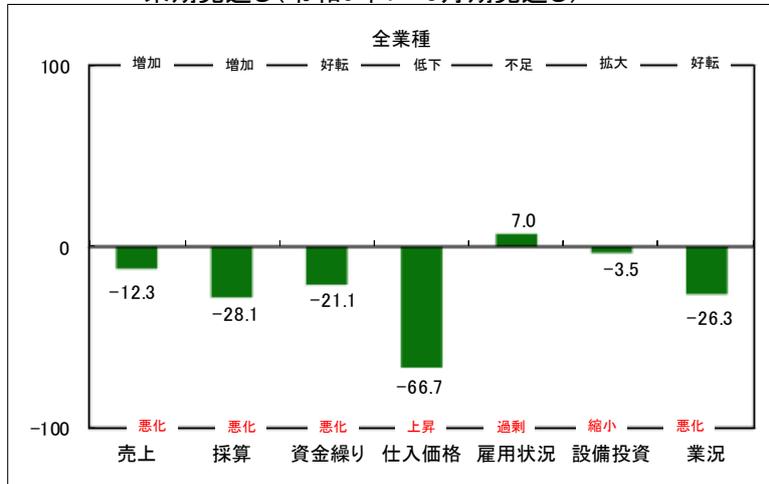
前年同期比(令和3年10~12月期比)



前期比(令和4年7~9月期比)



来期見通し(令和5年1~3月期見通し)

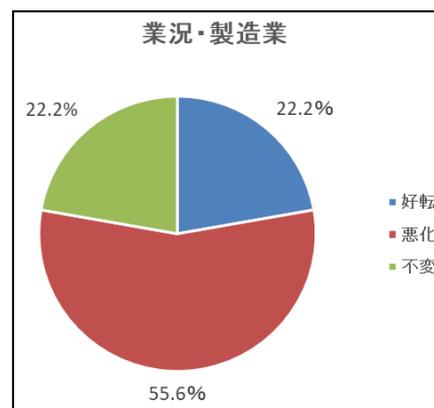


## 2. 業種別の概要

- ① 製造業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は、22.2%、  
悪化したと回答した事業所が55.6%、  
変わらないと回答した事業所が22.2%だった。

来期見通しD I 値についても▲22.2ポイントで、  
悪化の見通しとなっている。



### ○主な意見

#### 【半導体製造装置用部品製造業】

- ・「半導体関係受注が下火になって、在庫が増加し、受注量が減少。社内では技術者不足による稼働率低下。」

#### 【鉄骨の工場加工・現場組立業】

- ・「鋼材を含む原材料の高騰により、中小規模の建築物が中止や延期になっているようなので、工事量が極端に減少している。」

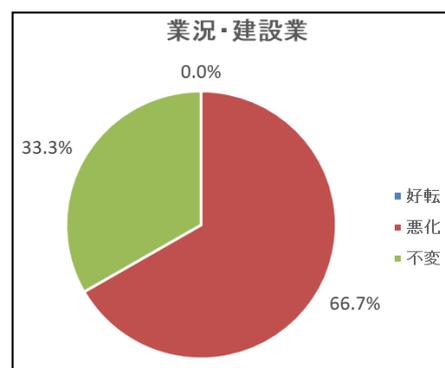
#### 【鋼構造物製造業】

- ・「材料不足による納期・工期の延長」

- ② 建設業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲66.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、  
悪化したと回答した事業所は66.7%、  
変わらないと回答した事業所は33.3%だった。

来期見通しのD I 値は、0.0ポイントで、不変の見通し  
となっている。



### ○主な意見

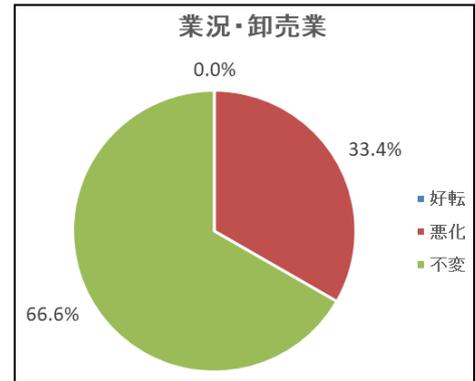
#### 【土木工事業】

- ・「原材料の上昇が今後も続きそうであり、先行きに明るさが見えない。」

③ 卸売業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲33.3ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は0.0%、  
悪化したと回答した事業所が33.4%、  
変わらないと回答した事業所66.6%だっ  
た。

来期の見通しD I 値は、▲33.3ポイントで、  
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【事務用品販売】

- ・「R5年1~3月に仕入価格の値上がりが見込まれているが、販売価格にどれだけ転嫁できるか。」

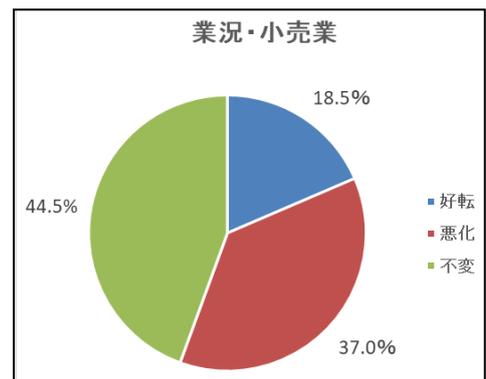
【乳製品卸売業】

- ・「同業者の廃業に伴い、取引先を引き継いだことで売上が増加した。」

④ 小売業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲18.5ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は18.5%、  
悪化したと回答した事業所は37.0%、  
変わらないと回答した事業所は44.5%だった。

来期の見通しD I 値は、▲29.6ポイントで、  
悪化の見通しとなっている。



○主な意見

【眼鏡販売業】

- ・「主要客層の高齢者を中心に消費意欲が低調。今後のコロナ禍からの回復に期待する。」

【飲食業】

- ・「年が変わり、いつも以上にお客様の来店が少なくなった気がする。また、連日物価上昇のニュースなどで、危機感を感じる。」

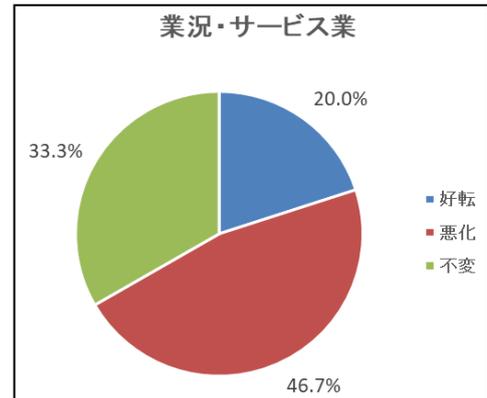
【自動車販売業】

- ・「コロナの影響および物価高騰が一番の原因で、個人消費が拡大しているいない事。都会と違い、地方の人々は、先の不安を感じて、節約して生活していると思う。」

⑤ サービス業の業況判断は、  
前年同期比のD I 値が▲26.7ポイント。

業況が好転したと回答した事業所は20.0%、  
悪化したと回答した事業所は46.7%、  
変わらないと回答した事業所は33.3%だった。

来期見通しD I 値は、▲26.7ポイントで、悪化の見  
通しとなっている。



#### ○主な意見

##### 【エステサロン】

・「地域の電子マネー導入のおかげで、売上増加に繋がった。」

##### 【美容業】

・「今後はさらにスタッフの確保に苦慮すると思う。全体的に高齢化しているお客様の減少は確  
実。」

##### 【理容業】

・「少しずつ顧客もつき始めており業績は向上する期待感がある。」

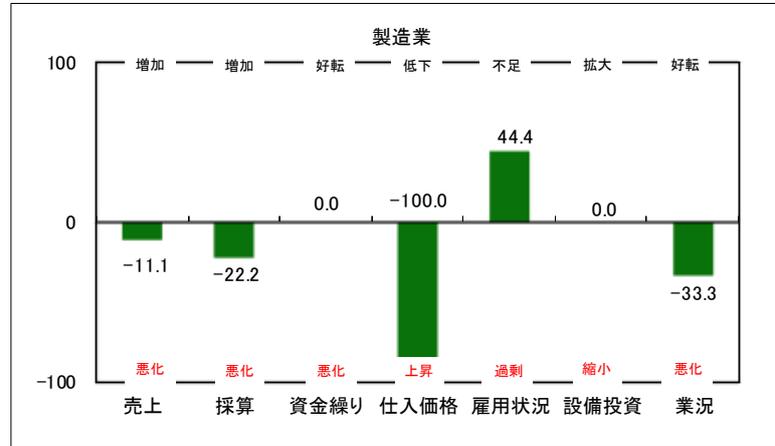
##### 【専門サービス業】

・「ウィズコロナが本格的となり、ますます市場が動く事が予測されるため。特に採用（求人）  
の相談が多い。」

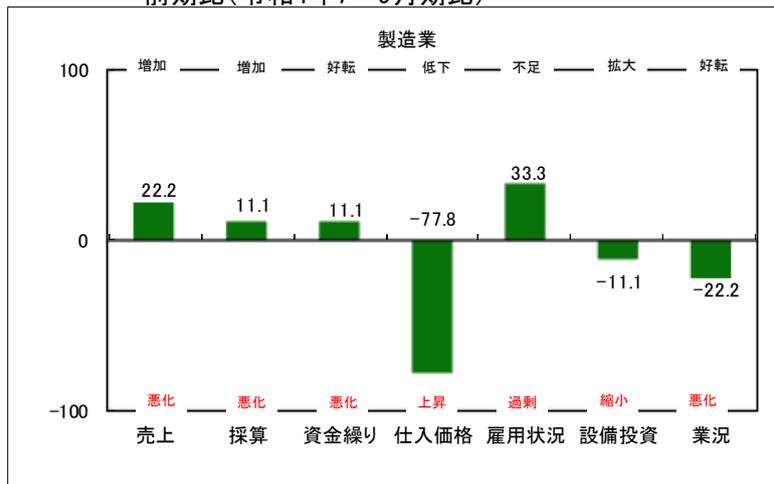
## 業種別景気動向

### 製造業

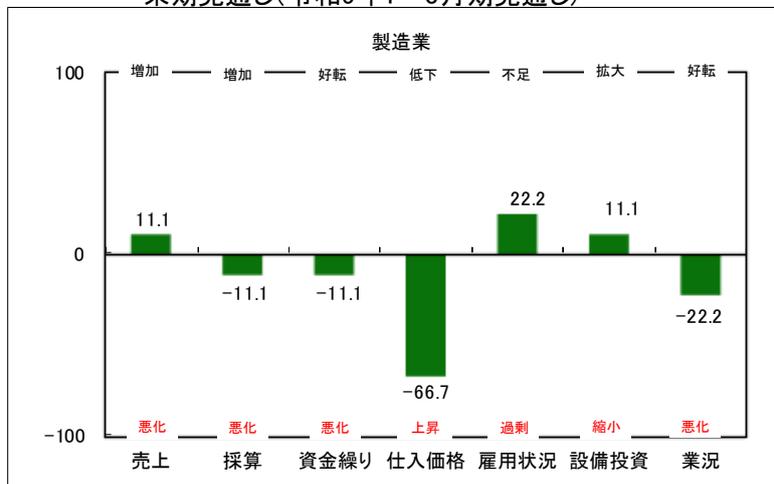
前年同期比(令和3年10~12月期比)



前期比(令和4年7~9月期比)



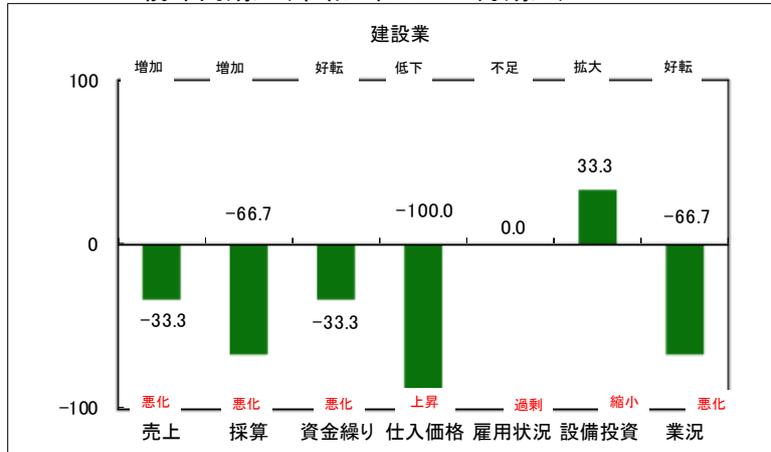
来期見通し(令和5年1~3月期見通し)



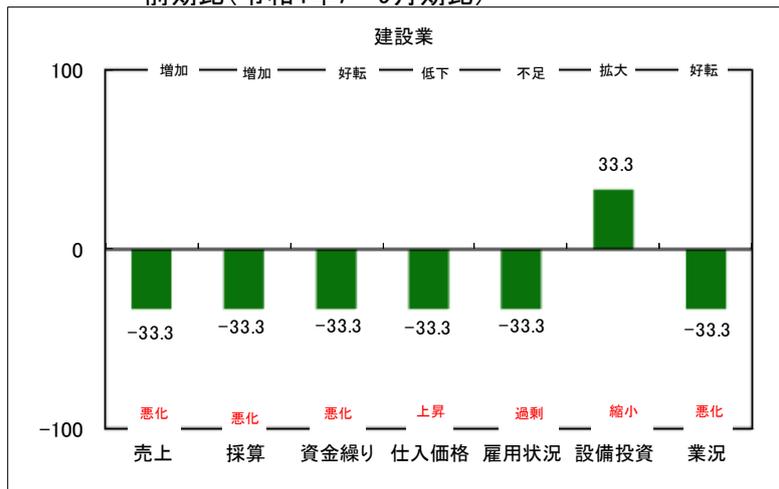
## 業種別景気動向

### 建設業

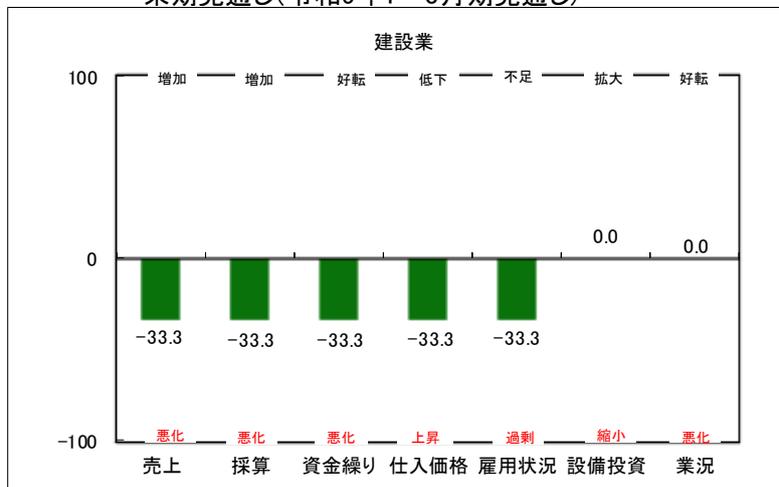
前年同期比(令和3年10~12月期比)



前期比(令和4年7~9月期比)



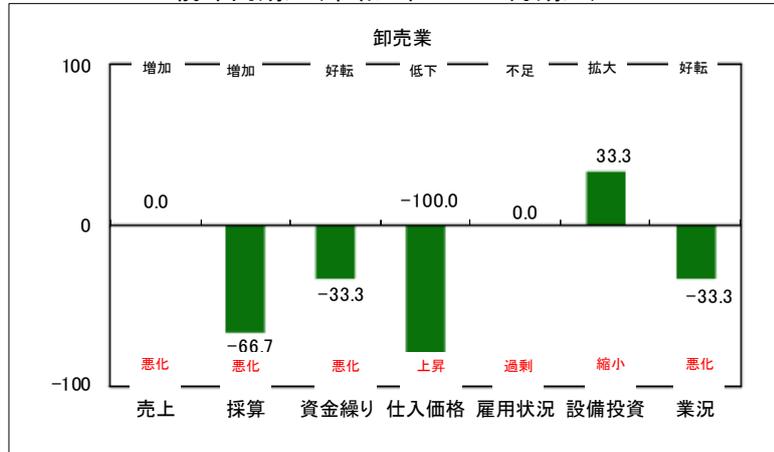
来期見通し(令和5年1~3月期見通し)



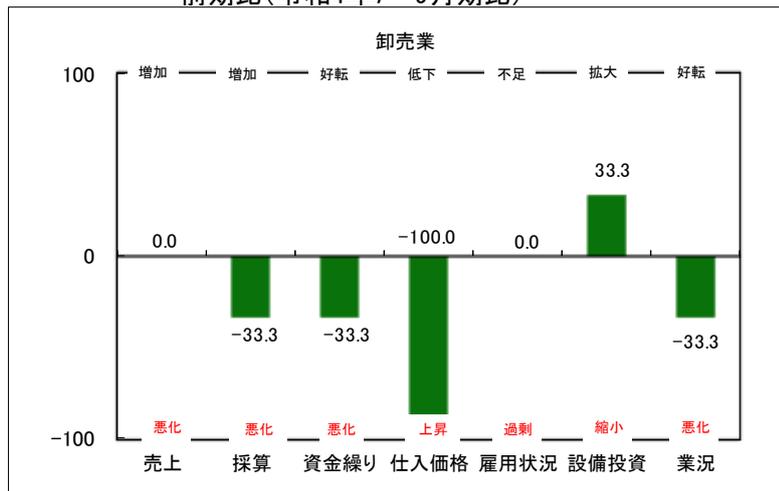
## 業種別景気動向

### 卸売業

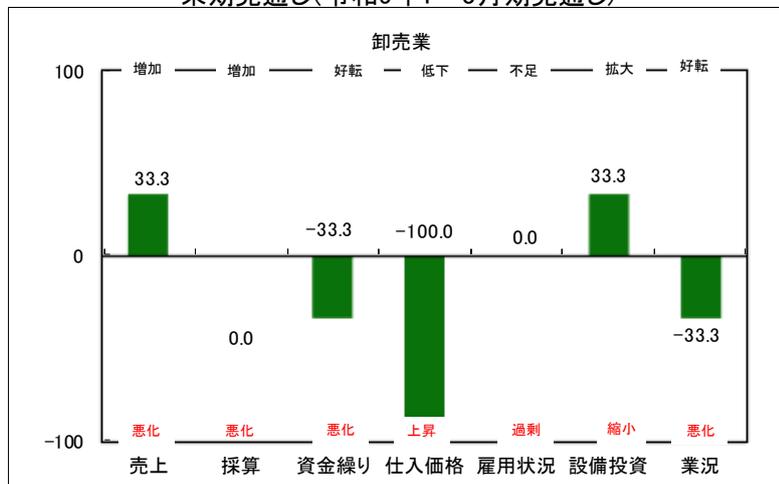
前年同期比(令和3年10~12月期比)



前期比(令和4年7~9月期比)



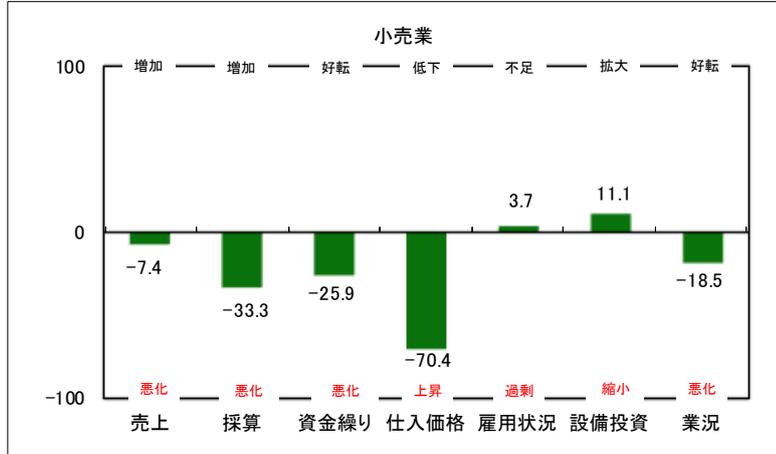
来期見通し(令和5年1~3月期見通し)



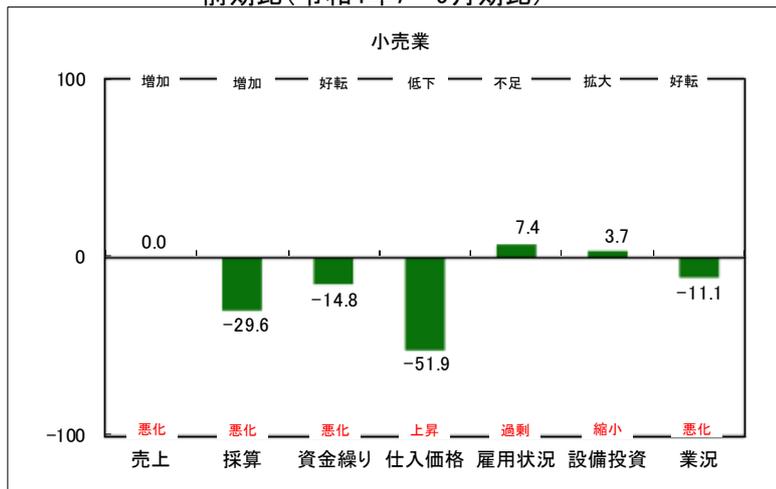
## 業種別景気動向

### 小売業

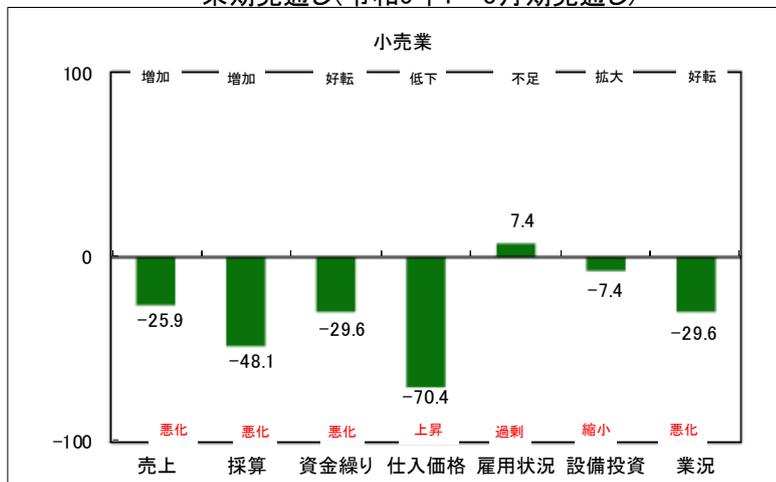
前年同期比(令和3年10~12月期比)



前期比(令和4年7~9月期比)



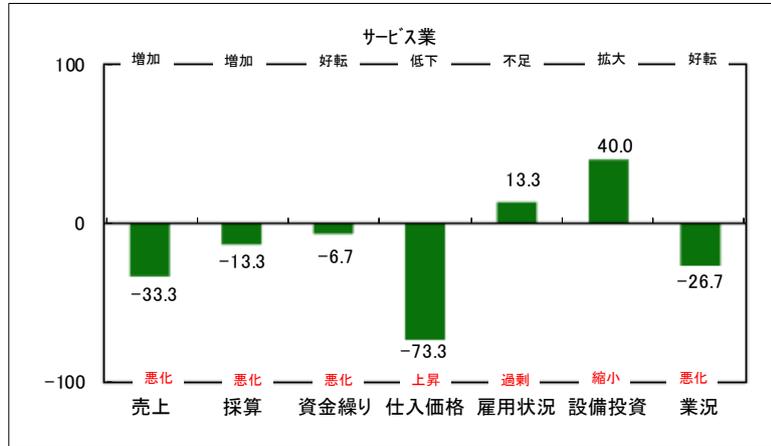
来期見通し(令和5年1~3月期見通し)



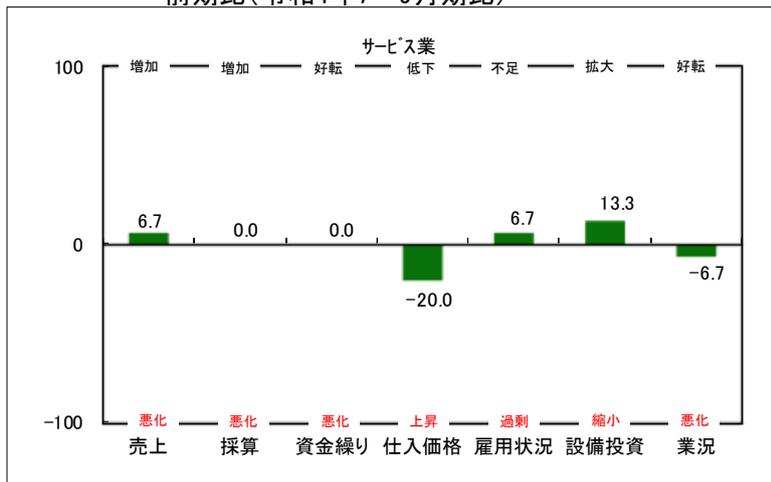
## 業種別景気動向

### サービス業

前年同期比(令和3年10~12月期比)



前期比(令和4年7~9月期比)



来期見通し(令和5年1~3月期見通し)

